



# スリランカ 図書館 完成報告書

## カントリー・ディレクターからのお礼

親愛なる久米繊維工業株式会社 T シャツプロジェクトチーム様

2012年にご支援いただいたルーム・トゥ・リード図書館の完成をご報告できることを大変喜ばしく思っております。スリランカの図書館・図書室チームは、2012年に設置した図書室を生徒や教師たちがより有意義に利用できるよう、2013年は日夜取り組んできました。この数ヶ月、フィールドスタッフは、各地の司書たちと、図書の貸し出しシステムが十分に機能しているか、図書室は生徒たちにとって立ち寄りやすい環境にあるか、図書室の本全てが十分に機能しているか、図書室は生徒たちにとって立ち寄りやすい環境にあるか、図書室の本全てが閲覧しやすいように整理・整頓されているか等、確認作業に努めて参りました。教師や司書たちは昨秋、そのような作業について研修を受講しており、彼らは研修の中で学んだことを各々の学校で実行しています。例えば教師たちはフィールドスタッフとともにどのように図書室の書籍を授業で利用するか、生徒たちが自分の識字レベルに適した本を選ぶための方法をどのように教えるか等を話し合っています。初めて図書室に案内された子どもたちの顔が喜びで溢れんばかりになり、読書に対する情熱の花が開き始めるのを目の当たりにするとき、その時が私たちの苦勞が報われる瞬間です。そして子どもたちや地域コミュニティの人々は、本という新しい世界を目にし、私たちの活動がどれほどインパクトをもたらすものなのかを認識し始めるのがまさにこの時期なのです。ルーム・トゥ・リードや現地政府のパートナーはこれからも定期的なモニタリングを続け、必要に応じて教師や司書たちの支援を続けて参ります。

私たちは子どもたちが図書室で色々な本を読み、またその機会を少しでも増やすことにこれまで尽力してきましたが、これからは図書館内外における本を通じた教師と子どもたちの交流にも力を入れていきたいと思っております。2012年、私たちは読書を習慣づけるためのガイドラインを作成しました。本の選び方のほかにも大きな声で本を読んだり、友達と一緒に本を読んだり一人で読んだりすることと同様にディスカッションや戯曲を作る、絵画に親しむ、また物語を語ったりすることも取り入れています。生徒たちが本を一人で選んで読めるようになるために、私たちは本を読む活動を通して2013年も教師や司書たちへのサポートを続けて参ります。

2012年に御社より寄贈いただいた小学校の図書室はすでに運営が開始されています。子どもたちや教師たちは、面白くて美しい本が今ではいつでも利用できることを大変喜んでおります。次ページから簡単ではありますが、図書室の最近の様子をお伝えし、皆様がコミュニティにもたらした素晴らしい影響をご紹介させていただきます。スリランカの子どもたちにこんなにも喜ばしい機会を与えてくれたことに本当に感謝しております。

心からの感謝の気持ちを込めて

ルーム・トゥ・リード・スリランカ  
カントリー・ディレクター  
Shevanthi Jayasuriya

株式会社 久米繊維工業株式会社  
T シャツプロジェクトチーム 御中

久米繊維工業株式会社 T シャツプログラムチーム様  
からの温かいご支援によりルーム・トゥ・リードはスリ  
ランカに図書室を設置することができました。

## プロジェクト概要

支援いただいた図書室はスリランカの東部の港町、Trincomalee にあります。Trincomalee は漁業や農業で成り立っています。この地域に住む人々の多くは、主に2回ある雨季での米栽培で生計を立てています。町は十分な環境ではあるものの、多くの住民は貧困にあえいでおり、乾季の間は近隣の町へ出稼ぎに出なければなりません。

Trincomalee はスリランカでもっとも田舎な町です。子どもたちは幼い兄弟たちを世話し、生計の面で家族を助けるべく学校へ行くことが困難な状況にあります。この地域の識字率はスリランカの平均より17パーセントも低く、多くの学校や関連施設は壊れている部分も多く、修復が必要な状態です。ルーム・トゥ・リードはこの地域において質の高い教育を与えることができると考えています。



## パートナーシップ

ルーム・トゥ・リードはほとんどの場合において、その地域のコミュニティと協力しあっています。このモデルを通してその地域に専門家や NGO のような機能を育み、それにより私たちのプログラムを広げることができます。地域の会社や NGO と協力し合うことによってこのプロジェクトが上手くいき、終了した後も長期にわたり続いていくと確信しています。このプロジェクトにおける私たちのパートナーは Trincomalee District Development Association です。この団体は1983年に人種差別被害者を救助するために設立されました。この組織は妊婦に対する栄養面でのサポートや、若者への職業トレーニング、生活

プロジェクト ID: LK-RR-12-0209

名前: Kavanthissa Vidyalaya

州/県: 東部  
区/地域: Trincomalee/Kanthale  
市/村: Seruvila  
学年: 1年生から5年生

### 生徒数

女子: 18名

男子: 10名

総計: 28名

### 教師数

女性: 2名

男性: 0名

総計: 2名



新しい図書室の外観



ルーム・トゥ・リードが寄贈した棚や椅子

を維持していくためのイベント、地方に住む人々への物資の供給など様々な活動を行っています。2009年以來、ルーム・トゥ・リードが建設した図書館を援助し、Trincolameeを何度も訪れ、モニタリングを行って来ています。

## 図書室概要

小学校に設けられた図書室はもともと資料室や一時的な職員室として使われていた部屋に作られました。室内にはたくさんの本やポスターで彩られ、生徒たちが読書に親しめるような雰囲気を持っています。また作り付けの棚に並べられた本、机やイス等の備品、ゲーム、ポスター、文房具等で溢れています。家具類は生徒たちが本を選びやすく、手に取りやすいように設計されています。壁には、地図や図書室のポスターなどが貼られ、生徒たちがくつろいで、本を自由に読んでいいんだ、と思ってもらえるように工夫されています。休み時間、1日の授業が始まる前、終わった後、そして教師たちが生徒たちを授業中に連れてきたときにも、図書室を利用できるようになっています。

## 寄贈されたもの

図書館・図書室チームは小学生にとってもっともふさわしい図書を探して奔走しています。そのためルーム・トゥ・リードの現地語出版プログラムチームも協力しています。またスリランカの小売店や出版社から現地語の本を、ルーム・トゥ・リードの寄付プログラムを通して英語の本を調達しています。そのような本の選別を行うことにより子どもたちに、より学習しやすい環境が整います。この図書室には以下のものが備えられています。

- 202冊の英語の本
- 130冊のルーム・トゥ・リード現地語出版書籍
- ルーム・トゥ・リード以外から寄付された671冊の現地語出版書籍
- 生徒たちのための椅子、戸棚、テーブル

図書室が持続的に利用されるよう、ルーム・トゥ・リードはプロジェクトのスタート段階から、地域コミュニティや学校による共同投資を募っています。今回、同校による最も大きな貢献は数名の学校職員やボランティアを司書として選んだことです。更に、同校は、部屋を一室提供し、リノベーションを行うなど、図書室を設置する場所も提供しています。

ルーム・トゥ・リードは生徒たちの家族や地域コミュニティをさらに活動に巻き込むべく、以下のような方法を探っています。

- 学校にコミュニティの人々を招いて、読書の重要性や図書館・図書室プログラムについてのミーティングの実施します。このミーティングでは、生徒たちの両親や地域コミュニティのメンバーと学校や家でどのように子どもたちをサポートすればよいか話し合います。
- 学校の職員、両親、地域コミュニティのメンバーによる図書室管理委員会を設立します。子どもたちが本を読む場所を提供するため、スリランカのいくつかのコミュニティでは図書室管理委員会が重要な役目を果たしています。



新しい本を読んでいます。



先生が子どもたちに本を読んでいます。



生徒たちが図書室で本を読んでいます。

## 研修とサポート

スリランカではルーム・トゥ・リードの支援の下、図書室運営に関わる教師・司書全員が、3年間の間、1年につき3日の研修を受けます。このような研修プログラムでは、彼らが1年に起こった問題等をどのように解決していくかを学んだり、前年学んだことを復習する場としても利用されています。スリランカの図書館・図書室プログラムでは3年間の支援期間に平均で月1回の現地視察を行い、教員たちにコーチングやプログラム実施におけるフィードバックなどのサポートを提供しています。加えて、図書室の運営状況に応じて、研修内容を補足し、学校の管理職たちに働きかけて教師たちが日常的に授業で図書室を活用するように促しています。このような視察はルーム・トゥ・リードやNGOのスタッフたちが行っています。2012年は読書を習慣づけるために図書室を使って子どもたちをどのようにサポートするかということに関して重点的に教師や司書たちに指導しています。

開始日	研修期間	研修内容
6/23/2012	3日間	本の選び方、子どもたちが訪れやすい 図書室作り、他の教師たちの巻き込み方 読書と図書室の重要性、 図書室の管理方法、 図書室の開館時間、 本を読むことを啓蒙するためのイベント、 図書室を長期的に維持する方法

寄贈された小学校の図書室に対し、ルーム・トゥ・リードは、今後3年間の支援を続けてまいります。図書を納品し、教師たちや司書への追加トレーニングを実施、子どもたちの両親へのサポート、それに加えて定期的な訪問視察を行います。

このレポートの翻訳は、ルーム・トゥ・リードの翻訳チームが担当しています。翻訳チームには、世界各地から100名を超える方々が参加しており、全員がボランティアとして活動しています。

当レポートの翻訳者：吉原 香織